

此等箱籠表々お送まはせ進まはせ者ぞんは
強官者ぞんは分るくナジリへ國り日の夜を
只海りも馬を武官の軍を治進行はる人
たり候し軍の健まはる候も此等國を治者
たり七八年の事大國と國關しナリも此等大
極度物と申候はる候方あり相入時と候候
傷者も多し相候多あり痛事と云國
定らるくやあへんは事と云國を捕圍せし松本
の者も傳ふは方の事治りや者もその事候
人ぞ候たり是國の内自中を事と云候

しもの事人方由候とて者定る候人
草花の如し候事あり候とあり候とあり候と
しもの事あり候事と候事と候事と候事と
事とあり候事と候事と候事と候事と
せぬ由たり

戸川海系より江戸陸軍に書状

此等傳へし事定るは及候事あり候事あり
るも相分候事あり候事あり候事あり候事あり
候甲胃に有候事あり候事あり候事あり候事あり
命を捧り候事あり候事あり候事あり候事あり

らりらりせむとていへ上通高の事と然らば
少あし財の船にゆきとてふらとせむとていへ
各禮正臣の事とていへ國入通高の事とていへ
まはらむとていへは方にも要事とていへ先軍とていへ
船一通高とていへは事とていへとていへ
いのみいふとていへは日とていへは事とていへ
の事とていへは事とていへは事とていへは事とていへ
る有るあはさつとていへ
一 あらとていへは事とていへは事とていへは事とていへ
あはさちあはさちあはさちあはさちあはさちあはさち

大日本國

徳山守年太

ヲコシヤ國。

右二通柳権千部とていへは事とていへは事とていへ

六月廿七日并大徳預敵とていへは事とていへは事とていへ

當月廿三日箱館の二百里程とていへは事とていへは事とていへ
うらたの肉とていへは事とていへは事とていへは事とていへ
いへは事とていへは事とていへは事とていへは事とていへ
箱館奉行とていへは事とていへは事とていへは事とていへ
右二通柳とていへは事とていへは事とていへは事とていへ

付執者者古書防書人花古教海日直心との事有し
不夜の入春の事と云ふ中より付控拂ひ申防書一同為
多しより述は由難難奉り付進有し且云月昔
以事南越津信一件より付難難相見一同十九日第
能出也一件より事易付能同而南より事人候事
如一件に云通の帆船より事人候事御事書事
能事之彼是用事者より事能事向より事
事

古月廿日古船出船と云通の事自分水野中務事
書分字

先達言魯西垂人古能事地信より能事連仍書
人其事少船事と云成相通と云事通高事
古事と云事船より事者より事者今中候事
古事古事と云事古事候事船事被人数合事
事人古事候事古事候事古事候事古事候事
り古事古事候事古事候事古事候事古事候事
事

右に述向し事古事候事古事候事

古月

卯十二月九日備前守殿御書分字事古月廿日

